

社会福祉法人岩手しいの木会非常災害対策計画

～ 目次 ～

1、趣旨	（1）
～共通の目的を持ち、常に安全第一のサービス提供を心掛ける～	
2、想定する災害について	（1）
～災害に応じて速やかな対応を心掛ける～	
3、人命の安全について	（1）
～最優先すべき内容～	
4、利用者の心身の状態把握	（1）
～利用者個々の特性に配慮した伝達・避難方法を実施する～	
5、災害時の組織体制と役割分担について	（1）
～職員個々が、無駄なく非常事態に対応するために～	
6、職員参集について	（2）
～明確な基準を設け、避難を早く始めるために～	
7、救護用利用者データの作成保存	（2）
～避難後の緊急時（通院等）に備えて～	
8、緊急連絡網について	（2）
～職員の安否確認と人員体制確保のために～	
9、関係機関との連絡体制について	（3）
～情報の収集と共有、公開、発信のために～	
10、利用者の安否確認の方法手段について	（3）
～複数の方法を準備し、確実に情報を得る～	
11、災害時の連絡体制について	（4）
～大規模災害時にも備えて、企業やメディアも活用～	
12、災害予防対策について	（4）
～防災意識を高め被害を最小限にするために～	
13、持ち出し品について	（4～5）
備蓄（必要な物資等の備蓄）について	
～避難場所として備えるために～	
14、立地条件について	（6）
～地域周辺の状態を把握し、避難時期、コースを適切に判断する～	
15、災害に関する情報の入手方法について（「避難準備情報等」）	（6）
～避難の判断基準とするために～	
16、災害時の連絡先及び通信手段の確認について	（6）
（自治体、家族、職員 等）	
～関係者すべての安否確認するために、様々な方法を備える～	

17、避難を開始する時期について	_____	(6)
～適切に判断するために(避難準備発令を確認するために)～		
18、判断基準について(「避難準備情報発令」時等)	_____	(6)
～避難に時間を有する方へ早めの対応をするために～		
19、災害別避難計画	_____	(7～8)
～基本の避難行動を災害別に身につけ実行する～		
20、避難場所について	_____	(8)
～盛岡市が指定した避難場所で洪水・地震どちらの災害にも対応している～		
21、避難経路について	_____	(9)
～車両が安全に通行でき、災害時の渋滞も考慮～		
22、避難方法について	_____	(9)
～車両での避難を中心に、あわせて、安全に乗降支援を～		
23、災害時の人員体制について	_____	(9)
～日中と夜間、いつでも安全に避難誘導するために～		
24、避難訓練実施計画について	_____	(9)
～さまざまな災害(不審者対策も含む)に適切に対応するために～		

社会福祉法人岩手しいの木会 非常災害対策計画

- 1、趣旨 災害発生時における職員の役割分担や基本行動についてあらかじめ定め、実際に災害が発生した場合には、速やかに、適切な対応を実践できるようにする。
福祉避難所の指定を受け、役割を果たすために、必要事項を定める。
- 2、想定する災害
・火災・地震・大雨洪水・噴火等
- 3、人命の安全
災害時には「利用者・職員の人命を守る」を、最優先に行動する。
- 4、利用者の心身の状態把握
利用者個々の特性に応じた、伝達手段、避難方法を定める。
- 5、災害時の組織体制・役割分担
次の役割を分担する。

統括責任者	役割	担当職員	主な内容
施設長 不在時は 副施設長	安全対策	ながはし	利用者・職員の安全確認、確保
		●●副施設長	施設・設備の被害状況確認
		●●防災担当	利用者への不安解消(状況説明等)
		まえがた	利用者の避難誘導
		●●副施設長	利用者家族への引渡し(必要時)
		●●防災担当	火元確認、初期消火
	情報収集 連絡	ながはし	気象・災害情報収集
		●●・●●	安否確認(職員・利用者家族)
		まえがた	利用者家族へ連絡
		●●・●●	行政へ連絡(状況、必要物資等)
	救護	ながはし	負傷者の確認・応急処置
		●●・●●	救急車手配
	物資管理	まえがた	●●・●●
		ながはし	食料、水の準備
		●●・●●・●●	発電機準備
		まえがた	暖を取る備品準備(ストーブ・毛布)
		●●・●●・●●	備蓄品補充・買い出し(発注)
			備蓄品の払い出し記録

6、職員の参集

参集基準

配備体制	配備基準	対象職員
注意配備体制	①地域に大雨・洪水注意報が発令されたとき。 ②県下に震度4の地震が発生した時。 ③噴火注意報が出されたとき。	施設長は待機し、常に出勤できるようにすること
警戒配備体制	①大雨、暴風、暴風雪・洪水警報が発令された時。 ②県下に震度5の地震が発生した時。 ③噴火警戒が出されたとき。	施設長及び正規職員は出勤すること
災害対策本部体制	①地域に被害が及ぶと予測され、その対策を要する時。 ②地域に災害が発生し、早急な対策を要する時。 ③県下に震度5強以上の地震が発生した時。 ④噴火が確認され、被害が及ぶと予測される時。	施設長及び正規職員は出勤する。 常勤臨時職員は、家族の安全が確保され次第出勤する

※災害対策本部体制時、常勤臨時職員の参集は夜間を除く、各自の安全を確保する。

7、救護用利用者データの作成保存

- ①健康シート（写し）、2か所（医務室と緊急時搬出物品用ケース）に保管、管理する。保険証、受給者証は避難時の重要物品として搬出する。

8、緊急連絡網

通常時と夜間時の連絡体制を準備作成する。

通常時、緊急連絡網を活用。（ながはし、まえがた）

9、関係機関との連絡体制整備

市町村防災担当課、障がい福祉課、ライフライン関係等との連絡先

情 報	機 関	機 関 名	電話番号
行政情報	消防	城西出張所	643 - 0119
	警察	盛岡西警察	645 - 0110
	警察	三ツ家分署	647 - 0041
	市	障がい福祉課	651 - 4111
		消防防災課	651 - 4111
	県	保健福祉部	629 - 5447
ライフライン	電気	東北電力	0120 - 175 - 366
	ガス	岩手共同ガス	634 - 0311
	水道	盛岡市上下水道	623 - 1411
	電話	NTT 東日本	625 - 4411
救護関係	医療機関	盛岡市立病院	635 - 0101
	嘱託医	●●	●● - ●●
	防犯	●●	●● - ●●
日常取引先	設備関係	●●	●● - ●●
	OA	●●	●●-●●
	システム	●●	●●-●●
近隣指定避難所		西部公民館	643 - 2288
		大新小学校	647 - 7531
		青山地区活動センター	646 - 1593
		土淵小中学校	647 - 8590

10、利用者の安否確認（日中活動以外）の方法手段について

場面）火災・避難準備発令、地震（震度4以上）、噴火の場合

- 短期入所利用時
（夜間）
- ①地震や災害の直後、関副施設長が安否確認の連絡を取る。
 - ②副施設長から施設長に報告連絡。
 - ③不通の場合は、管理職員は短期入所事業所に行き確認する。
 - ④施設長が理事長、常務理事に報告。

帰宅後や休日

- ①情報収集連絡職員が、電話で連絡し確認を行う。
 - ②確認後施設長に報告。施設長が理事長、常務理事に報告。
- ※電話が使用不可の場合は、自宅訪問し確認。

11、災害時の連絡体制

連絡が取れない場合の連絡方法

① 災害時伝言ダイヤルの活用

「171」をダイヤルし、伝言の録音再生を行う。

※電話番号を入力することで、録音内容が確認できます。

② ラジオのメディア活用(情報発信)

各家庭、職員に具体的な活用について、プリントを配布し周知を促す。

※自宅訪問、安否確認。

12、災害予防対策

地震・洪水・火災の具体的な予防対策を講じる。

地震 ガラス飛散防止フィルム

書棚等の転倒防止策、落下物への対応

火災 日常の整理整頓、火気の定期的な確認

13、持ち出し品の準備（備蓄品の整備）

災害時に必要なもの（10人3日分として）準備。（盛岡市地域福祉課より教示）

その他、必要物については、随時、補充管理する。

生活備蓄品（※まえがた）

No.	品名	個数	備考(留意点等)
1	LEDランタン	2	照明器具代用
2	電池(単1・2・3・4)	各1箱	各種器具の作動
3	発電機	1	ガソリン確保
4	電源タップ・延長コード	2	発電機からの電源確保
5	懐中電灯	3	照明器具代用
6	テレビ(携帯用)	1	情報収集
7	反射式ストーブ	1	冬季の暖房補助(灯油)
8	灯油	1缶	ストーブ燃料
9	毛布	10枚	冬季の暖房補助
10	軍手	20セット	けが防止、防寒
11	ガムテープ(布製)	3ロール	破損箇所補修等
12	ロープ	1巻	物品固定、収束等
13	ブルーシート	1	建物破損部分補修
14	非常時持ち出し袋	1	
15	ハサミ	5	

16	ペン(マジック)	10本	
17	紙(A3)	1締め	情報提供
18	セロテープ	5ロール	
19	古新聞紙	1箱	
20	ビニール袋	2箱	45ℓ、90ℓ(1箱ずつ)50枚入り
21	ティッシュ(BOX)	10箱	

飲食関係備蓄

No.	品名	個数	備考(留意点等)
1	飲料水(ペットボトル)	8ケース	α米調理用
2	ミルクビスケット	1箱	
3	非常食(米)	50食	
4	おかゆ	40食	
5	野菜ジュース	1箱	
6	保存食(缶詰)	1ケース	6年保存
7	レトルトカレー	30食	
8	味付けごはん	50食	
9	割りばし	1セット	
10	紙コップ	3セット	
11	アレルギー対応食セット	1	

排泄用品備蓄

No.	品名	個数	備考(留意点等)
1	マイレット	1	災害用トイレ
2	黒ポリ袋(大)	50枚	
3	黒ポリ袋(小)	100枚	
4	トイレットペーパー	50ロール	
5	ウエットティッシュ	2ケース	
6	消毒剤	1	ウエルパス
7	パーテーション	6	
8	古新聞紙	1箱	

利用者特性に配慮したもの

No.	品名	個数	備考(留意点等)
1	利用者個人カルテ	利用者分	
2	利用者個人情報一覧		
3	保険証、受給者証(写)		
4	個人ケースファイル		

14、立地条件について

①しいのみホーム ※洪水・土砂ハザードマップ対象外

噴火時の火山泥流被害想定地域指定

事業所前には、諸葛川が流れている。

上流で緩やかに左に曲がり事業所前を流れている。

長橋から事業所の方に、緩やかに下り傾斜しているので、氾濫した場合は事業所側に浸水してくる可能性がある。

②しいのみホームまえがた ※洪水・土砂ハザードマップ対象外

建物南側には新川が流れている。雨の状況によっては氾濫も想定する。

新川の南側には雫石川が流れているが、河川敷が広がり手前には高い土手がある。雫石川が氾濫し土手を超えてくる場合も想定する。

15、災害に関する情報の入手先、入手方法

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ①防災・災害情報(盛岡市ホームページ) | パソコンインターネット (タブレット) |
| ②避難準備情報(盛岡市災害対策本部) | 電話 |
| ③盛岡消防署の情報 | 電話 |
| ④気象予報 | テレビ・ラジオ |

16、災害時の連絡先及び通信手段の確認について

①連絡先のお知らせ

事業所)	ながはし	●●
	まえがた	●●
緊急時番号	ながはし	●●
	まえがた	●●

②災害時伝言ダイヤルの活用・ラジオメディアの活用

③ながはし・まえがた事業所への情報揭示

17、避難開始時期

盛岡市から避難準備発令が出されたら、速やかに開始する。

18、避難開始判断基準

盛岡市の避難準備発令の有無。

19、災害別避難計画

火災

日中活動時

	ながはし	まえがた	備考
避難場所	出火場所から離れた場所 (敷地内駐車場)	出火場所から離れた場所 (敷地内駐車場)	
避難経路	火元から離れた経路	火元から離れた経路	
避難手段	徒歩	徒歩	
所要時間	避難指示から3分以内	避難指示から3分以内	

短期入所利用時（隣接施設から出火の場合）

	女子棟	男子棟	
1次避難	男子棟に一次避難	2次避難準備	
2次避難	応援職員到着後、男子棟からながはし館内に避難開始 応援職員) ●●・●●・●●・●●・●● 管理者、ながはし開錠 (●●・●●)		
所要時間	1次避難 10分	2次避難 30分	

○訓練棟より出火

手順) ①消防通報（女子職員）

②避難誘導（外へ）

③連絡（①副施設長・②施設長）

④応援指示連絡（副施設長） ①●●運転士

②●●職員

③●●職員

④●●職員

⑤連絡（施設長） 理事長・常務理事

○隣接施設が火災

手順) ①連絡（①副施設長・②施設長）

②1次避難誘導（女子棟利用者・職員）

※2次避難準備

③応援指示連絡（副施設長） ①●●運転士

②●●職員

③●●職員

④●●職員

④連絡（施設長） 理事長・常務理事

地震

	ながはし	まえがた	備考
避難場所	1 次避難（敷地内駐車場） 2 次避難（西部公民館）	1 次避難（第 1 避難場所） 2 次避難（土淵中学校）	
避難経路	一番近い出口から避難	一番近い出口から避難	
避難手段	徒歩	徒歩	
所要時間	避難指示から 3 分以内	避難指示から 3 分以内	

水害（暴風雨等）

	ながはし	まえがた	備考
避難場所	西部公民館	土淵中学校	
避難経路	しいのみ⇒東北銀行（大館支店）裏左折⇒西部公民館	まえがた→ラーメン正太郎→土淵中学校	
避難手段	① 車	①車	
所要時間	（乗車 1 5 分、移動 5 分）	（乗車 5 分、移動 7 分）	

噴火・(火山災害)

	ながはし	まえがた	備考
避難場所	西部公民館	土淵中学校	
避難経路	しいのみ⇒東北銀行（大館支店）裏左折⇒西部公民館	まえがた→ラーメン正太郎→土淵中学校	
避難手段	車	車	
所要時間	（乗車 1 5 分、移動 5 分）	（乗車 5 分、移動 7 分）	

「ながはし」が、火山泥流被害想定地域となっているので、噴火後は速やかに避難開始または、帰宅指示を出す。

20、避難場所）指定の避難場所と災害時の避難場所を複数設定する。

ながはし

①西部公民館

②その他の避難指定場所

大新小学校・厨川中学校・青山地区活動センター（洪水・地震）

まえがた

①土淵小中学校

②土淵活動センター

21、避難経路）事業所内の避難経路の掲示

指定避難場所までの経路（地図）の周知。大きな道路は渋滞の可能性あり。

ながはし

ゆきわり号の通行が可能な経路を考慮。

西部公民館・大新小学校方面

まえがた

イオン駐車場内を通過しないコースを設定。

22、避難手段・方法）配車表

利用者の状態と災害規模により、避難場所を設定する際、
避難場所までの移動手段として、車輛で移動する。

ながはし 別紙配車表参照

※ウェルキャブ 2 便対応（利用者、職員・（車いす、重要物品）

小山最終確認、施錠後移動。

まえがた） 別紙配車表参照。

23、災害時の人員体制

日中活動中 原則、勤務職員で一次避難誘導対応。
休日職員への連絡、参集指示。（施設長が指示）

夜間時 勤務職員、一次避難誘導対応。
地域住民防災協力体制。
近隣職員への参集指示。（施設長が指示）

24、防災訓練計画（平成 29 年度）（ながはし・まえがた）

- ①火災（年 2 回） 日中と夜間時(小グループ)を実施
- ②地震（年 1 回）
- ③水害（年 1 回） 車での避難(乗車・避難場所までの移動)
全体 1 回、小グループごと(1 回)
- ④総合（複合） 地震からの火災発生(年 1 回)
- ⑤不審者対策（年 1 回）

※平成 29 年 1 月 11 日作成